

尊敬語・謙譲語・丁寧語を見分けよう

基礎～標準

敬語の種類を見分ける

問1 【 】内の敬語の種類として正しいものの記号を○で囲みなさい。

先生は先ほど【お帰りになった】。

ア 尊敬語 イ 謙譲語 ウ 丁寧語

問2 【 】内の敬語の種類として正しいものの記号を○で囲みなさい。

私は先生の作品を【拝見した】。

ア 尊敬語 イ 謙譲語 ウ 丁寧語

問3 【 】内の敬語の種類として正しいものの記号を○で囲みなさい。

明日は校外学習【です】。

ア 尊敬語 イ 謙譲語 ウ 丁寧語

問4 【 】内の敬語の種類として正しいものの記号を○で囲みなさい。

校長先生がそう【おっしゃった】。

ア 尊敬語 イ 謙譲語 ウ 丁寧語

誰の動作か考える

問5 場面に合う表現の記号を○で囲みなさい。

生徒が担任の先生について別の先生に話します。最も適切なのはどれですか。

ア 担任の先生が明日の会議にいらっしゃる イ 担任の先生が明日の会議に伺う ウ 担任の先生が明日の会議に参る

問6 場面に合う表現の記号を○で囲みなさい。

自分が先生の研究室へ行くことを先生に伝えるとき、最も適切なのはどれですか。

ア 研究室へいらっしやいます イ 研究室へ伺います ウ 研究室へお越しになります

問7 場面に合う表現の記号を○で囲みなさい。

生徒が担任の先生について別の先生に話します。最も適切なのはどれですか。

ア 担任の先生が資料を拝見する イ 担任の先生が資料をご覧になる ウ 担任の先生が資料を伺う

問8 場面に合う表現の記号を○で囲みなさい。

自分が先生の話を聞いたことを先生に伝えるとき、最も適切なのはどれですか。

ア お話を伺いました イ お話をおっしゃいました ウ お話をご覧になりました